

あたたかい子
かしこい子
たくましい子

学校だより

つよし

—第35号—

令和元年12月16日
平戸市立津吉小学校
文責 校長 田川定司

おそうじマイスター

今年10月に羽田空港に行く機会がありました。1日約20万人が利用する空港ターミナルは多くの人で賑わっていました。以前に比べてアクセスも格段によくなり、お店も多くまるでショッピングモールのようなようでした。この羽田空港は、世界一清潔な空港としても有名です。

先日、平戸図書館で「世界一清潔な空港の清掃人」という本を目にしました。世界一清潔な空港である羽田空港を支える清掃人の新津春子さんのお話です。著書の中で新津さんは、自分の仕事の流儀を次のように述べています。

心を込めるということです。心とは、自分のやさしい気持ちですね。清掃をする物やそれを使う人を思いやる気持ちです。心を込めないと本当の意味で、きれいにできないんですね。その物や使う人のためにどこまでできるかを常に考えて清掃をしています。心を込めればいろんなことも思いつくし、自分の気持ちのやすらぎができます。そして人にも幸せを与えられると思うんです。

6年生が、5月に行った職場体験の事業所の方も、これと似たようなことを子供たちに語り掛けていました。津吉小学校では、1年生から6年生まで縦割り班で協力し合い一生懸命、掃除に取り組むことがあります。その時は、教師は子供たちの手本、6年生は清掃班のリーダーとなります。床ふきの役割の子供たちは、冷たい水でも両手でしっかり床をふき、どの子供も無言で一生懸命取り組んでいます。おそうじマイスターの子供たちがしっかり育っています。

年末は、大掃除をする御家庭も多いのではないかと思います。また、年始には、親せきや知り合いが寄り合い、新年の挨拶を交わすことでしょう。大掃除にしても年始の挨拶にしても、「心を込めた」言動ができる津吉っ子であってほしいと願っています。

『心』は誰にも見えないけれど『心づかい』は見える。

『思い』は見えないけれど『思いやり』は誰にでも見える。

おにぎり給食

13日(金)におにぎり給食を実施しました。今回のおにぎり給食のおにぎりは、5年生が稲作体験で収穫したお米を使って作りました。全校児童が5年生の頑張りど、人と自然の恵みに感謝しながら、美味しいおにぎりをいただきました。塩を付けてのりを巻いただけのシンプルなおにぎりですが、とてもうれしそうに大事そうにつくる様子は、何とも可愛らしいものでした。

